

第3章

健幸（けんこう）長寿のまち

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
				会計	投入コスト	活動実績(R4)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
311	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 58千円 22千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 57千円 24千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.10人 0人 798千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.10人 0人 800千円	項目名 所沢バスポート券利用者数	指標名 所沢バスポート券を利用した延べ人数	目標設定の考え方・根拠 所沢バスポート券利用者数を指標とする。目標値については、事業を継続して推進するため前年度実績を超える数値を目標としている。	R4年度に改善した点 R4年度に改善した点	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業のPRや広報も難しい状況であったが、国の行動自粛の緩和策や、国等による宿泊支援事業などの動きに合わせ、市民の保養施設利用者が前年度より増え、事業の目的のとおり市民の健康増進と心身のリフレッシュに資することができている。	市民が利用施設を検討するに際し、施設の情報にアクセスできるよう、市ホームページの協定施設一覧に協定施設のホームページをリンクさせた。これにより、協定施設のアピールポイントや最新情報を市民は入手しやすくなったほか、協定施設側も所沢市民に知ってもらう機会が得られやすくなった。	3 すべての人に健康と福祉を					
		-	自治事務									実績	R3実績 R3実績 150人 201人	現状の課題 市民が利用施設を検討するに際し、施設の情報にアクセスできるよう、市ホームページの協定施設一覧に協定施設のホームページをリンクさせた。これにより、協定施設のアピールポイントや最新情報を市民は入手しやすくなったほか、協定施設側も所沢市民に知ってもらう機会が得られやすくなった。		
		根拠法令	事業の目的及び具体的な内容									市民の健康増進と心身のリフレッシュを目的とする。市が協定を結ぶ温泉地の旅館組合や単体の宿泊施設で宿泊料金の優待割引(10%)等を受けられる所沢バスポート券事業を実施している。令和4年度は、四方温泉及び石和温泉の2か所の保養地と草津、土肥、魚沼、十日町、秩父にある宿泊施設と協定を結んでいる。なお、土肥については令和4年6月に協定解除となった。	目標達成	評価者 市民相談課長 守谷 秀明	どのよう貢献したか インターネットの普及に伴い、市が行う事業としての役割は相対的に少なくなっている。また、協定解除の申入れがあった協定先もあるため、時事情報の収集を行いつつ、今後の事業のあり方について検討していく。	
		期間	H4 ~									338件	R4実績 R4実績 210人 338人	どのよう貢献したか インターネットの普及に伴い、市が行う事業としての役割は相対的に少なくなっている。また、協定解除の申入れがあった協定先もあるため、時事情報の収集を行いつつ、今後の事業のあり方について検討していく。		
													R5実績 R5実績 400人			
311	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 9,638千円 9,045千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 15,900千円 14,932千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 1.55人 0.30人 12,369千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 2.39人 0人 19,125千円	項目名 参加者数 一日の平均歩数	指標名 健康マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	目標設定の考え方・根拠 生活習慣病予防に有効な1日の平均歩数が8,000歩であるという中之条研究の成果を参考に指標としている。	R4年度に改善した点 R4年度に改善した点	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、R4年11月に開催した「トコロんウォーク」を市独自ポイント対象事業としたり、12月をウォーキング促進強化月間とする等の取り組みによって、平均歩数はR3年度よりも増加したため。	・市独自ポイント対象事業を拡充し、市民の出歩きの促進を図るとともに、イベント参加者の拡充及び「賑わい」の創出を目指した。 ・12月の平均歩数が8,000歩以上又は12月中の平均歩数が前月より増加した参加者に、抽選でクオカードが当たる「ウォーキング促進強化月間」を実施した。	3 すべての人に健康と福祉を					
		最優先	自治事務									実績	R3実績 R3実績 8,000歩 7,029歩	現状の課題 ・事業への参加継続及び平均歩数増加のための取り組みを進めていく。 ・R5年度中に埼玉県が予定している現行制度の見直しに合わせ、本事業も新アプリへの移行等を予定している。既存の参加者がスムーズに新事業に移行できるよう情報発信等に努める。		
		根拠法令	事業の目的及び具体的な内容									本事業は、市民一人ひとりが健康を実感しながら地域で安心していきいきとした生活をおくることができる「元気でいきいき 健康長寿のまち」の実現を目指す一環として実施するもので、従来の「トコロん健康マイレージ事業」から、埼玉県が実施する「コバト健康マイレージ事業」に令和2年7月から参加することで、リニューアルしたものである。歩数計、スマートフォンのアプリで歩数を記録しながら、日常的にウォーキングを行ってもらい、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりへの取組を支援するものである。また、楽しみながら続けられるよう、市の独自ポイントを付与、抽選により景品が当たる仕組みを取り入れている。	目標達成	評価者 健康づくり支援課長 岩雲 美香	どのよう貢献したか 日常生活における「歩き」を推進することで、生活習慣病の予防及び健康づくりへの取組を支援するとともに、CO2の削減に貢献した。	
		期間	R2 ~									7,201歩	R4実績 R4実績 8,000歩 7,201歩	どのよう貢献したか 日常生活における「歩き」を推進することで、生活習慣病の予防及び健康づくりへの取組を支援するとともに、CO2の削減に貢献した。		
													R5実績 R5実績 8,000歩			
311	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 27,958千円 18,347千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 27,115千円 18,747千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 3.69人 5人 29,446千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 4.64人 6人 37,129千円	項目名 地区依頼教育の会場数 地区依頼教育の実施人数	指標名 地区からの依頼教育の実績	目標設定の考え方・根拠 市民や関係機関と共に健康づくりを推進しており、地区からの依頼教育は地域における保健活動の指標として適している。	R4年度に改善した点 R4年度に改善した点	新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで以上に健康への関心が高まる中、健康二次被害も懸念される状況であった。このような状況を踏まえ、情報発信や地域の団体や関係機関との関係づくりに努めたことにより、地域からの依頼が増加した。	地域からの依頼に対し、保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士が対応できる講座の内容をホームページに掲載した。	3 すべての人に健康と福祉を					
		重要	自治事務									実績	R3実績 R3実績 1,000人 1,047人	現状の課題 地域からの依頼に対し、保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士が対応できる講座の内容をホームページに掲載した。		
		根拠法令	健康増進法、地域保健法									事業の目的及び具体的な内容	「元気でいきいき 健康長寿のまち」の実現にむけて、平成25年4月から保健師の地区担当制を導入し、各種健康データの分析や保健事業を通じて各行政区ごとの地区特性を把握し、子どもから高齢者まで全ての市民を対象とした保健活動を、市民ならびに関係機関と協力して進めている。	目標達成	評価者 健康づくり支援課長 岩雲 美香	どのよう貢献したか 地域の現状や課題を把握し、関係機関と連携を図りつつ、地域の実情にあった保健活動を継続していく。
		期間	H18 ~									64会場 1,288人	R4実績 R4実績 1,300人 1,288人	どのよう貢献したか 地域の現状や課題を把握し、関係機関と連携を図りつつ、地域の実情にあった保健活動を継続していく。		
													R5実績 R5実績 1,600人			

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																							
				会計	投入コスト	活動実績(R4)	活動実績(R4)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目																								
312	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	事業自体が貢献する項目																								
		-	自治事務										R4予算現額	R4決算額(見込み)	産後ケア(デイサービス型)支援年間利用日数(年間延べ人数)	妊娠・出産について満足している親の割合(妊娠・出産つづけてサポート事業に関連する事業のため指標を揃えた)	4か月児健康診査票から「健やか親子21(第2次)」計画の乳幼児健康診査におけるアンケート調査項目を設定。 「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることはできましたか」の質問に「はい」と回答した数÷4か月児健康診査受診者数	R4目標値が未達成の理由・分析	目標値には達していないが、産後ケア事業(デイサービス型)を新たに開始し事業の充実を図り、産婦に寄り添う支援の拡充を図った。	従来の宿泊型に加え、新たにデイサービス型の産後ケアを開始した。	10 人や国の不平等をなくそう															
		根拠法令	母子保健法第十七条の二、母子保健医療対策総合支援事業実施要綱(国)、所沢市産後ケア事業実施要綱										885千円	356千円								R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを											
		事業の目的及び具体的な内容	出産後1年までの母子に対し、ケアを必要とする母親の身体的回復と心理的安定を図り、安心して過ごせるよう、デイサービスを通じて支援の拡充を図るもの。 基本利用額の7割分を公費負担し、利用回数7回を上限として助成する。										R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合								実績	R4目標			R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み									
		期間	R4 ~										0.59人	1.0人														52日(延べ38人)	83.5%	82.3%	どのように貢献したか					
													4,721千円																			新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者が孤立感を抱えながら育児をしている背景がある。 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援ができるよう、助産師・保健師等専門職による届出面接の充実(相談窓口の周知、個々の状況に応じた相談支援、産後ケア事業に関する情報提供)が必要だと考える。	R4目標	R4実績	サービスの実施施設は市外1施設のため、市民の利用促進のため市内の実施施設の開設について検討する。	身体的・心理的なケアを必要とする母親の身体的回復と心理的安定を図るよう努めた。
				83.0%	R5実績																															
312	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別									R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	事業自体が貢献する項目																
		-	自治事務																		R4予算現額	R4決算額(見込み)	契約医療機関における助成券使用件数 以外(償還払い)対象件数	産婦健康診査実施率(+) ÷ 年度妊娠届出数	費用の一部を助成し経済的負担軽減を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援をすることが目的のため産婦健康診査実施率を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析	目標値に達しなかったが、健康診査費用の負担軽減を図ることで多くの産婦が受診し、早期発見により適切なフォローにつなげられるよう努めている。	事業についてのホームページの内容や産婦健康診査助成券を追加で送付した方へのご案内を分かりやすくするなど工夫した。	16 平和と公正をすべての人に							
		根拠法令	母子保健法第13条	11,561千円	8,322千円																R3目標	R3実績								R4目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを					
		事業の目的及び具体的な内容	産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から費用を助成し、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実を図るもの。 ・助成対象者: 所沢市に住居登録がある産婦 ・助成額: 5,000円(上限) ・助成回数: 産婦1人につき1回 ・対象となる健康診査: 出産から概ね1か月後の産婦健康診査	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標														R4実績	どのように貢献したか														
		期間	R4 ~	0.60人	0人			1,570件 98件	100.0%																							81.8%	対象者が漏れなく受診できるように今後も面接や訪問時に勧奨するとともに、ホームページ等広報の充実を図り周知する。	対象者の経済的負担を軽減し、適切な支援へつなぐよう貢献した。		
				4,801千円						産婦健康診査の助成に対しては「こころの健康チェック」が必須となるが、これを実施していない医療機関もあることや申請期限が出産後1年以内のため、年度をまたいで申請する世帯もある未達成となった。	R4目標																								R4実績	健康づくり支援課長 岩雲 美香
				100.0%	R5実績																															
312	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別					R3予算現額	R3決算額					項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	一	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	事業自体が貢献する項目																
		最優先	自治事務							R4予算現額	R4決算額(見込み)										妊娠届出時の相談件数	相談件数	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るもの。相談件数を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析	令和5年4月1日からの伴走型相談支援の開始に向け、令和4年度から着実に準備作業を進めることが出来た。事業予算については、令和5年度に繰り越した。今後も、伴走型相談支援の充実を目指し、取り組みを進めていく。	初年度であったことから、国県等からの情報収集、他市町村の動向を注視した。	16 平和と公正をすべての人に									
		根拠法令	伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業実施要綱(国)、埼玉県伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業実施要綱、所沢市出産・子育て応援事業実施要綱							26,416千円	令和5年度へ繰越																	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	17 パートナースhipで目標を達成しよう					
		事業の目的及び具体的な内容	全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して、出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施するものである。 このうち本事業は、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るものである。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合					実績	R4目標																	R4実績	どのように貢献したか							
		期間	R4 ~	0.40人	0人							令和5年度より事業開始	R4目標																			R4実績	関係部署と連携しながら、事業を進めた。			
				3,201千円		令和5年度より事業開始	R5目標																											R5実績		
																																			2,400件	R5実績

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
				会計	投入コスト		活動実績(R4)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
314	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		-	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)								3歳児フッ化物塗布件数	塗布件数	定期的な歯科健診の受診を促し、市民の生涯を通じた口腔の健康の保持・増進を目指すことが当該事業の目的となっていることから、塗布件数を指標とする。			
		根拠法令	母子保健法		1,904千円	543千円													
		事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合											R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		3歳児健康診査において虫歯のなかった児を対象に、後日、改めて保健センターへ来所のうえフッ化物塗布を実施していたが、指定日に来所することが難しいなどの理由により、予約者・受診者とも減少傾向にあった。このため、対象者を3歳児健康診査受診者全員に拡大し、個々の予定に合わせ、近くの歯科医院で実施できるよう個別方式に変更した。市内歯科医院でフッ化物塗布を実施することにより、幼児期からかかりつけ歯科医を持つことにつなげ、更にその保護者も一緒に定期的な歯科健診の受診を促し、市民の生涯を通じた口腔の健康の保持・増進を目指すものである。			会年職員等	実績											R4目標	R4実績	
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合											1,506件	350件	
					0.32人	0.4人											R5目標	1,500件	
期間	R4 ~	2,561千円				評価者	健康づくり支援課長 岩雲 美香												
321	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		優先	自治事務		1,032,561千円	891,525千円								小児予防接種接種者数 成人予防接種接種者数	小児予防接種接種率 (延べ接種者数62,714人÷対象者数64,647人)	感染症の発生・まん延を防止するためには市民の免疫レベルを高い水準に保つ必要があることから、予防接種の周知・勧奨を確実に行うことにより、100%に近い接種率を維持していくことを目標とする。			
		根拠法令	予防接種法		1,192,288千円	941,059千円													
		事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合											R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		各種予防接種を実施することで、市民の免疫レベルを高い水準に保ち、感染症の発生・まん延を防止する。 [種類] (小児)ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、HPV(キャッチアップ接種を除く)、ロタウイルス(成人)男性の風しん、高齢者インフルエンザ、成人用肺炎球菌			1.85人	1人											100.0%	91.3%	
					14,763千円												R4目標	R4実績	
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合											62,714人	51,614人	100.0%
1.98人	1人	R5目標	100.0%																
期間	S23 ~	15,844千円				評価者	健康管理課長 松井 優子												
321	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		優先	自治事務		3,257,296千円	2,783,549千円								従来型1回目接種 従来型2回目接種 従来型3回目接種 従来型4回目接種 オミクロン株対応型接種	新型コロナウイルスワクチン接種率 (オミクロン株対応型接種者数159,770人÷対象者数313,322人)	対象者のうち接種を希望される方(約70%を想定)が接種できる体制の整備を行い、接種を実施することを目的としているため、年度末現在の平均接種率を指標とする。 R3実績は初回接種(1回目、2回目)完了者の接種率 R4実績はオミクロン株対応型接種完了者の接種率			
		根拠法令	予防接種法、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱(国)		3,327,292千円	2,157,843千円													
		事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合											R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		新型コロナウイルスワクチン接種を希望する方が、安心安全に接種できる体制整備・接種を実施するものである。			20.91人	3人											70.0%	82.5%	
					166,862千円												R4目標	R4実績	
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合											278,157人 276,495人 230,860人 91,568人 159,770人	70.0%	50.9%
8.40人	0人	R5目標	50.0%																
期間	R2 ~	67,217千円				評価者	健康管理課長 松井 優子												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
324	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者自身に対しても継続した支援を行うなど、相談者の世帯状況を勘案し、問題解決に向け切れ目のない細やかな相談支援を実施した。	R4年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を								
		重要	自治事務										R4予算現額	R4決算額(見込み)	自死遺族支援「わかちあいの会」の運営	「生きるを支える所沢市行動計画」(自殺対策計画)に基づく施策のうち「思春期こころの健康相談事業」の相談者数を指標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	自殺対策基本法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律										1,074千円	1,064千円				R4目標	R4実績	
		自殺防止対策にかかわる啓発事業	事業の目的及び具体的な内容										R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析		
			自殺対策基本法の基本理念には、自殺が個人的な問題としてのみとらえられるべきものではなく、その背景には様々な社会的要因があることを踏まえ、その対策が社会的な取組として実施されなければならないとされている。本市においてもその趣旨を踏まえ相談や普及啓発等の自殺防止対策を実施する。										0.62人	0人					R4目標	R4実績
			6回実施 80人参加										31人	37人					目標達成済	
			12回実施 31人										31人	31人						
		期間	H21 ~										R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.91人	0人	R5目標	32人		
		7,282千円																		
331	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	本事業は、平日夜間、祝休日の昼間・夜間、すべての日の小児の第2次救急医療体制の確保を目的としていることから診療実施率を指標としている。	R4年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を								
		優先	自治事務										R4予算現額	R4決算額(見込み)	診療目標日数(平日夜間、日曜昼・夜間、祝休日昼・夜間)	小児科救急医療病院群輪番制実施率 診療実施日数 ÷ 診療目標日数	R4目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	所沢地区小児科救急医療病院群輪番制病院運営費補助に関する協定書、埼玉県小児救急医療施設運営費補助金交付要綱										2,998千円	2,911千円				R3目標	R3実績	
		小児科救急医療病院群輪番制事業	事業の目的及び具体的な内容										R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析		
			夜間(月から土曜日)及び休日・祝日の小児の第2次救急医療を確保するため、所沢市、狭山市、人間市において、3市及び協力医療機関(4病院)による協定書に基づき、輪番制で第2次救急医療体制の整備を図るものである。										0.38人	0人					R4目標	R4実績
			429日										100.0%	100.0%					目標達成済	
			429日										100.0%	100.0%						
		期間	H12 ~										R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.25人	0人	R5目標	100.0%		
		2,001千円																		
331	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	本事業は、一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始における初期救急患者に対する医療体制の確保が目的であることから、診療実施率を指標とした。	R4年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を								
		重要	自治事務										R4予算現額	R4決算額(見込み)	診療計画日数	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	R4目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	埼玉県地域保健医療計画										16,035千円	15,964千円				R3目標	R3実績	
		在宅当番医制実施事業	事業の目的及び具体的な内容										R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析		
			一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により、市内の医療機関が輪番制で診療を実施するものである。										0.43人	0人					R4目標	R4実績
			72日										100.0%	100.0%					目標達成済	
			72日										100.0%	100.0%						
		期間	S59 ~										R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.25人	0人	R5目標	100.0%		
		2,001千円																		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)											
				会計	投入コスト		活動実績(R4)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目											
333	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を													
		優先	自治事務		740,106千円	601,139千円						地域包括ケア病床在院患者延数	地域包括ケア病床の利用率 (地域包括ケア病床在院患者延数 × 100 / 病床数 × 365)	公的医療機関として、地域医療に求められる病床機能を確保しつつ事業運営をしていくという役割があるため、地域包括ケア病床の利用率を指標とする。	R4年度に引き続き、積極的に、退院基準を満たした患者の受け入れを行った。									
		入院事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)						実績				地域包括ケア病床の利用率 (地域包括ケア病床在院患者延数 × 100 / 病床数 × 365)	公的医療機関として、地域医療に求められる病床機能を確保しつつ事業運営をしていくという役割があるため、地域包括ケア病床の利用率を指標とする。	R4年度に引き続き、積極的に、退院基準を満たした患者の受け入れを行った。						
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則		748,311千円	601,562千円													R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容		29.00人	32.4人													2,708人	56.8%	41人	78.0%	66.1%	新型コロナウイルス感染症が収束せず、陽性者数が過去最大となる社会情勢において、ひっ迫する発熱外来への応援体制をとりつつ、職員や職員の家族が陽性者、濃厚接触者となり、医療提供体制の維持に苦慮したところであり、目標達成に至らなかった。
			一般入院、かかりつけ医からの紹介、民間病院で受け入れ困難な患者などについて、入院受け入れを行い市民が安心して暮らすことができる医療環境を整備する。また、医療機関や行政機関との連携を図り、地域での医療連携(地域完結型医療)体制を推進するものである。		231,420千円																			
		期間	S51 ~		31.80人	43.1						598人				56.8%	41人	78.0%	66.1%	新型コロナウイルス感染症への警戒を怠らず、基本的な感染防止策を維持しつつ、地域からの医療ニーズにこたえられるよう、積極的に入院受け入れを行っていく。				
					254,464千円																R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績
																				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
																				地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療の効率的・継続的な提供に努めた。				
									評価者															
									総務課長 粕谷 憲之															
333	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を													
		優先	自治事務		634,106千円	493,233千円						人間ドック等受診者数	市民医療センターで人間ドックを受診し、精密検査を指示された方のうち市民医療センターで精密検査を受けた方の割合	疾病の早期発見、早期治療に取り組むことを目標とするため、人間ドックで精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合を指標とする。	受付体制の見直しを行い、健診時間の短縮に努めた。									
		健診事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)						実績				市民医療センターで人間ドックを受診し、精密検査を指示された方のうち市民医療センターで精密検査を受けた方の割合	疾病の早期発見、早期治療に取り組むことを目標とするため、人間ドックで精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合を指標とする。	R4年度に改善した点						
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則		642,662千円	497,787千円													R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容		17.30人	46.9人													9,911人	1,471人	461人	30.0%	33.8%	目標達成済み
			市民の健康維持・増進のため、人間ドック、特定健診などの検診を実施する。また、疾病の早期発見、早期治療に繋げていくため、精密検査や治療が必要な受診者に対し、受診勧奨を行い、確実な医療機関への受診を促進するものである。		138,054千円																			
		期間	S51 ~		17.10人	48						1,471人				461人	30.0%	33.8%	目標達成済み	効率的で快適な受診環境の整備に努め、更なる受診者を受け入れることにより、市民が健康で安心な生活を送れるよう事業継続に努める。				
					136,834千円																R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績
																				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
																				市民の健康維持・増進のため、人間ドック等の健診事業を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげるように努めた。				
									評価者															
									総務課長 粕谷 憲之															
333	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を													
		優先	自治事務		214,280千円	192,140千円						小児夜間急患診療年間患者数	小児初期救急医療体制の維持	安心して子育てができる医療環境を整備するため、市民医療センターと市内医療機関が連携して、所沢市域全体での小児初期救急医療の提供体制を維持するものである。	小児初期救急医療を担当する医師会や大学病院等の医師と連携を密にし、発熱患児への対応の統一を図り、発熱患児の診療を積極的に行った。									
		小児初期救急医療体制推進事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)						実績				小児夜間急患診療年間患者数	安心して子育てができる医療環境を整備するため、市民医療センターと市内医療機関が連携して、所沢市域全体での小児初期救急医療の提供体制を維持するものである。	R4年度に改善した点						
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則		220,285千円	190,920千円													R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容		4.60人	38.6人													1,677人	859人	3,306人	維持	維持	目標達成済み
			安心して子育てができる医療環境を整備するため、医療機関の多くが診療を実施していない夜間、深夜、日曜日及び祝日において小児の内科的急性疾患の初期診療を実施し、関係医療機関と連携しながら所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努めていく。		36,708千円																			
		期間	H11 ~		4.00人	43.5						1,677人				859人	3,306人	維持	維持	目標達成済み	今後も安定的に小児初期救急医療体制を維持するため、医師会や他の医療機関との連携に努める。			
					32,008千円																	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標
																				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
																				地域における医療提供体制の充実を図り、安心して子育てができる医療環境の整備に努めた。				
									評価者															
									総務課長 粕谷 憲之															

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
343	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
		優先	自治事務		20,028千円	17,839千円							受診勧奨対象者の受診率 保健指導対象者の修了率 継続支援対象者の参加率	医療費が高額になる人工透析への移行を防ぐため、医療機関を受診していない人、もしくは受診を中断した人の勧奨後の受診率を指標とする。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	国民健康保険法		R4予算現額	R4決算額(見込み)										23,101千円	13,544千円	R4目標値が未達成の理由・分析		
		期間	H26 ~		事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費							R3その他職員従事割合	0.89人	0人	実績	R3目標		R3実績	未受診理由としては、自覚症状がないことから必要性の認識欠如や忙しさが想定される。早期の取組の重要性を周知していくことが必要と考えられる。
					県の指定を受けたモデル事業であり、国保連合会との共同事業として実施。各保険者が事業費用を分担金として負担。具体的には、レセプトと健診データを活用し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつける受診勧奨と、糖尿病性腎症で通院する被保険者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防ぐ。	会年職員等							0人	18.0%	16.9%					
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.64人	0人	18.8%		18.8%			
						7,102千円									41.9%	R4目標	R4実績			どのように貢献したか
			0.64人				R5目標				被保険者の病状の安定を図るため、県プログラムに参加し、事業を実施した。									
			5,121千円				20.0%													
										国民健康保険課長 石川 純也										
344	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
		優先	自治事務		1,501千円	783千円							ジェネリック医薬品数量シェア	数量シェア=ジェネリック医薬品の数量/(ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量+ジェネリック医薬品の数量)×100	R4年度に改善した点					
		根拠法令	-		R4予算現額	R4決算額(見込み)										1,291千円	752千円	R4目標値が未達成の理由・分析		
		期間	H25 ~		事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費							R3その他職員従事割合	0.33人	0人	実績	R3目標		R3実績	目標達成済
					ジェネリック医薬品の利用率の目標値を数量ベースで80%と定め、ジェネリック医薬品の利用促進シールの配布等により被保険者への周知・啓発活動をすすめるとともに、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、医療関係者に対しても協力・連携を図り、目標達成を目指す。	会年職員等							0人	80.0%	78.6%					
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.38人	0人	80.1%		80.1%			
						2,633千円										R4目標	R4実績			どのように貢献したか
			0.38人				R5目標				被保険者の医療費適正化を図るため、周知啓発活動を実施した。									
			3,041千円				80.0%													
										国民健康保険課長 石川 純也										
351	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
		重要	自治事務		252千円	129千円							参加者募集人数 教室参加者数 教室開催数	地域社会への参加や自らの意思によって学習意欲や探求心を維持し、良き趣味を持ち、生きがいのある日々を過ごすことができるよう運動を通して健康・体力づくりを行うことが必要であることから、引き続き参加者の増員を目標とした。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	スポーツ基本法		R4予算現額	R4決算額(見込み)										270千円	128千円	R4目標値が未達成の理由・分析		
		期間	S52 ~		事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費							R3その他職員従事割合	0.48人	0人	実績	R3目標		R3実績	目標達成済
					主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティーセンター等に配付する。随時日程に合わせ生涯学習情報紙にて募集を行う。運動を通し健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しむきっかけをつくる。	会年職員等							0人	750人	709人					
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.53人	0人	820		767人			
						3,830千円										R4目標	R4実績			どのように貢献したか
			0.53人				R5目標				担当地区という枠ではなく市全体でどんな運動事業ができるか、また、高齢者対象の事業の他に児童館等、他との施設の協力を得ながら教室を開催し、運動する機会が少ない親等の健康体力づくりの場を今後も引き続き提供していく。									
			4,241千円				750人													
										スポーツ振興課長 三上 佳明										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	今後においても、より一層市民の余暇の拡大、健康増進に努めていきたい。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		重要	自治事務											R4予算現額	R4決算額(見込み)	施設利用枠数	施設稼働率(利用枠数÷利用可能枠数×100)	R4目標	R4実績
		根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例、所沢市都市公園条例・同施行規則											209,189千円	208,648千円				
		事業の目的及び具体的な内容	体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。 ・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。 ・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		5.28人	0人											R4目標	R4実績				
		42,134千円	252,995件											R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	701,085人	R4目標	R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		4.67人	0人													90,293,940円			
		37,369千円	75.0%											80.8%	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析	R5実績	令和4年度の施設利用人数は令和3年度に比べて、61,000人以上増加したものの、利用可能枠数が約33,000件増加したため目標値未達成となった。
		80.0%	75.9%											80.0%					
		期間	S51 ~											評価者	スポーツ振興課長 三上 佳明	どのよう貢献したか		施設利用者の余暇活動、健康増進に寄与した。	
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	残り1校については、学校と近隣状況の関係について注視していくものとする。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		重要	自治事務											R4予算現額	R4決算額(見込み)	利用者数	学校開放運営委員会による組織開放率(組織開放校÷市内小・中学校数47校)×100	R4目標	R4実績
		根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法											4,110千円	4,110千円				
		事業の目的及び具体的な内容	各地区学校開放運営委員会が委託契約に基づき、学校体育施設を市民に開放するため、利用者の調整や手続きなどの管理運営を行っている。また、利用者が安全かつ快適に利用できるよう開放時における施設設備の保全、利用者に対する使用の指導助言や施設、設備の使用許可なども行っている。											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		0.50人	0人											R4目標	R4実績				
		3,990千円	328,624人											R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	100%(47校)	R4目標	R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		0.24人	0人													100%(47校)			
		1,920千円	100%(47校)											R5目標	R5実績	残り中学校1校に関しては、学校側が近隣住民等の兼ね合いから解放に慎重であるため、現時点では難しいと思われる。	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析
		100%(47校)	100%(47校)																
		期間	S48 ~											評価者	スポーツ振興課長 三上 佳明	どのよう貢献したか		市民のスポーツ活動の場の確保に寄与した。	
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルスの影響で、令和4年度は3年ぶりの開催となった。成果指標の目標値は達成できなかったが、1日あたりの利用者数という指標が、天候などの条件に左右される性質のものであることから、一概には判断できないものと考えられる。より一層市民の余暇の拡大につながるよう、施設の運営に努めていきたい。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		重要	自治事務											R4予算現額	R4決算額(見込み)	年間利用者数	1日あたりの利用者数(年間利用者数÷開催日数)	R4目標	R4実績
		根拠法令	スポーツ基本法、所沢市都市公園条例・同規則											0千円	0千円				
		事業の目的及び具体的な内容	北野公園に市民プールを設置し、開設期間である7月中旬から8月31日まで運営。夏季におけるスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与する。 ・開設中の運営は、民間業者に委託 ・清掃・受付業務・事業用備品の購入、点検等											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		0.22人	0人											R4目標	R4実績				
		1,756千円	24,049人											R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	6,148,560円	R4目標	R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		0.42人	0人													1,000人			
		3,361千円	1,000人											R5目標	R5実績	新型コロナウイルスの影響で、令和4年度は3年ぶりの開催となった。入場者週に関しては令和元年度と同水準であったものの、目標値には程遠い状況となっている。施設の老朽化もあるが、イベントや売店などの充実、魅力を増していく必要がある。	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析
		1,000人	1,000人																
		期間	S47 ~											評価者	スポーツ振興課長 三上 佳明	どのよう貢献したか		施設の老朽化が著しく進んでいることから、施設を管理する公園課と連携しながら、修繕を含めた施設の安全管理・運営が必要である。	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト	活動実績(R4)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	体育施設は年々老朽化が著しく進んでいることから、安全かつ快適な施設運営のためにも、引き続き施設の修繕、改修に努めていきたい。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を					
		重要	自治事務	11,339千円	11,327千円	体育施設整備費執行額(修繕) 体育施設整備費予算額(工事) 体育施設整備費執行額(工事)	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100)	施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っていく。	R4目標値が未達成の理由・分析			狭山湖運動場防球ネット新設工事を行った。						
		根拠法令	R4決算額(見込み)	30,289千円	29,719千円							実績		R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	R3正規職員人件費	0.72人	0人	29,718,392円	100.0%	99.9%	R4目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか						
		事業の目的及び具体的な内容	会年職員等	5,746千円	0人							R4目標		R4実績	市民が生涯に渡ってスポーツを楽しめるよう、計画的な施設整備、既存施設の修繕を行っていく。			
		市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図るため、利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。 所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。	R4正規職員人件費	1.22人	0人	6,677,000円	100.0%	98.1%	R5目標			施設利用者の余暇活動、健康増進に寄与した。						
		期間	会年職員等	9,762千円	0人	5,834,400円	100.0%	100.0%						評価者				
		S45 ~										スポーツ振興課長 三上 佳明						
		353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		A	所沢市民の健康と体力向上のため、その実践活動の促進と関係団体相互の連絡調整を行っている。市全体のスポーツ大会をはじめ、各支部で運動会や各種スポーツ大会及び講習会などを実施している。地区において体力づくり市民会議支部団体及びスポーツ協会支部団体の住み分け等の問題があるため、今後は体力づくり市民会議の在り方を検討していく必要がある。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
				重要	自治事務	2,700千円	2,400千円	大会参加者数 大会参加者数(前年)	大会参加者数維持率(参加者数÷前年度参加者数×100)			体力づくり事業として実施している各種スポーツ大会の参加者数を増やしていく。				R4目標値が未達成の理由・分析		航空公園運動場を会場に、人工芝の上でモルックやベタングなどのユニバーサルスポーツを含む親子で体験する「親子スポーツフェア」を開催し、前年と種目を変更して実施した。
根拠法令	R4決算額(見込み)			2,700千円	2,700千円	R3目標	R3実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
スポーツ基本法、体力づくり市民会議交付金交付要綱	R3正規職員人件費			0.22人	0人	1,646	100.0%	658.0%	R4目標値が未達成の理由・分析	どのように貢献したか								
事業の目的及び具体的な内容	会年職員等			1,756千円	0人					R4目標	R4実績	幅広く市民がスポーツに親しむことができるように、スポーツに関心のない市民も参加したくなる種目に改め、内容を充実させる必要がある。						
「体力づくり市民会議」は、スポーツ・レクリエーション大会や各種教室の実施を通じて、ゆとりある市民生活や体力の向上発展に寄与している。また、各支部への支援を行なうことにより市民の生涯スポーツへの機会の提供を行う。この組織の活動を支援することを目的としている。	R4正規職員人件費			0.11人	0人	658	100.0%	250.0%	R5目標	スポーツに関心のない市民も参加したくなる種目に改め、内容を充実させる必要がある。								
期間	会年職員等			880千円	0人		100.0%	100.0%			評価者							
S47 ~										スポーツ振興課長 三上 佳明								
353	スポーツ振興課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	少子化及びスポーツ少年団に属さないアーバンスポーツの台頭などで登録人数は減少若しくは横ばいの状態にあるが、青少年の育成というスポーツ少年団の理念があることから引き続き団員の確保に努めていくものとする。			R4年度に改善した点		3 すべての人に健康と福祉を
				重要	自治事務	1,110千円	500千円	登録数 登録団体	登録数の維持率(今年度登録数÷前年度登録数×100)	少子化傾向にあるものの、スポーツ少年団の周知や魅力を高め、登録数を維持していくもの。	R4目標値が未達成の理由・分析					スポーツ少年団の登録システムが変更となったため、各少年団を集めて説明会を実施し、スムーズな登録手続きが行えるようサポートした。		
		根拠法令	R4決算額(見込み)	1,110千円	1,110千円	R3目標	R3実績							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		スポーツ基本法、スポーツ少年団補助金交付要綱	R3正規職員人件費	0.44人	0人	1,610(前年1,560)	100.0%	78.9%	R4目標値が未達成の理由・分析	どのように貢献したか								
		事業の目的及び具体的な内容	会年職員等	3,511千円	0人					R4目標	R4実績			埼玉県スポーツ少年団の講習等を受講することで、スポーツ少年団指導者の育成を図り、より幅広い層である未就学児の団員の確保を目指していくものとする。				
		スポーツを愛好する青少年がスポーツを通じ心身の健全な育成及び鍛錬することを目的に結成した単位スポーツ少年団を、育成・支援するために「所沢市スポーツ少年団」が結成された。この組織が行う事業と組織の充実を図るために、交付金の交付を開始した。	R4正規職員人件費	0.34人	0人	58(前年61)	100.0%	103.2%	R5目標	青少年ががスポーツをする場の確保に寄与した。								
		期間	会年職員等	2,721千円	0人		100.0%	100.0%			評価者							
		S48 ~								スポーツ振興課長 三上 佳明								

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
354	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和3年度は市民体育館サブアリーナでスポーツ大賞およびスポーツ協会賞の社会人以上の方を招待して表彰式を開催しましたが、令和4年度は新型コロナウイルスの感染対策を実施した上で、表彰対象者を全員をお呼びして式を実施しました。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		重要	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)									候補者推薦件数	表彰式参加者数 (参加者数÷前年度参加者数×100) (189名÷80名)	スポーツ大賞を格式あるものとするため、受賞者をはじめ、より多くの市民が関心を持つように、参加者数を目標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	所沢市スポーツ大賞設置及び表彰要綱		159千円	132千円														
		事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													R3目標	R3実績
		スポーツ界で優秀な成績を収めたもの及びスポーツの振興に寄与したものを顕彰することで、市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起することを目的とする。			0.28人	0人													100.0%	681.0%
					2,234千円														R4目標	R4実績
		期間	S47 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合													100.0%	236.3%
		0.34人	0人	R5目標																
		2,721千円		100.0%																
354	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	地域住民を中心とした運営により、令和2年1月に20周年目を迎えた。クラブの種目については現在15種目となっている。成果指標についても、新規会員の獲得に向けた取り組みを行っており、おおむね目標を達成している。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		重要	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)									会員数 種目別活動数	会員数維持率 (今年度会員数÷前年度会員数×100)	スポーツクラブの周知や魅力を高め、会員数を維持していくことを目標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	スポーツ基本法		0千円	0千円														
		事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													R3目標	R3実績
		所沢市総合型地域スポーツクラブの活動支援を行うことで、クラブの拡充による住民自治活動の推進やスポーツ人口の拡大など、生涯継続していくことができるスポーツ活動の振興に寄与するため。			0.13人	0人													100.0%	74.0%
					1,037千円														R4目標	R4実績
		期間	H12 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合													100.0%	100.4%
		0.23人	0人	R5目標																
		1,840千円		100.0%																
354	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和4年度からの移管事業となるが、所沢市オリンピック・パラリンピック競技啓発事業推進委員会(スポーツヒーロー応援団)のイベント実施数	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
		重要	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)									イベント実施数	体験会・講演会等の開催数 (今年度イベント実施数÷前年イベント実施数×100)	所沢市オリンピック・パラリンピック競技啓発事業推進委員会(スポーツヒーロー応援団)のイベント実施数	R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	スポーツ基本法		414千円	0千円														
		事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													R3目標	R3実績
		オリンピック・パラリンピックの機運醸成や地域の活性化を図ることを目的に、大会のPRや障害者スポーツの普及啓発に向けた取組を実施する。また、オリンピックパラリンピックの選手だけでなく、本市にゆかりのある世界的なアスリートがいるため、所沢市ゆかりのアスリートとして認定し、市をあげて応援し、本市のスポーツ振興を図るものとする。				0人														
																			R4目標	R4実績
		期間	R4 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合													100.0%	
		0.30人	0人	R5目標																
		2,401千円		100.0%																